

11/18 早稿



十七日午前七時五十分、敦賀市道口の民家で、住人の無職岸本芳雄さん(53)と妻の志のぶさん(52)、息子の建設会社役員太喜雄さん(70)の三人の遺体を訪ねてきた親族が見つけた。同居する太喜雄さんの七代の妻が病院に搬送された。敦賀署は、妻が事情を知っているとみて調べる。

署によると、遺体を見つけていた親族から警察に通報があった。外部から人が侵入があった。近隣住民によると、この家には芳雄さん夫妻と太喜雄さん夫妻の四人が暮らしていた。芳雄さんは目が悪く、太喜雄さんも足が不由でつえをついており、妻が仕事をしながら、三人を

した。敦賀美方消防組合によると、妻は薬を飲んだとみられるが意識はあった。

近隣住民によると、この家は「三人の介護で疲れただけ」と話していたのを

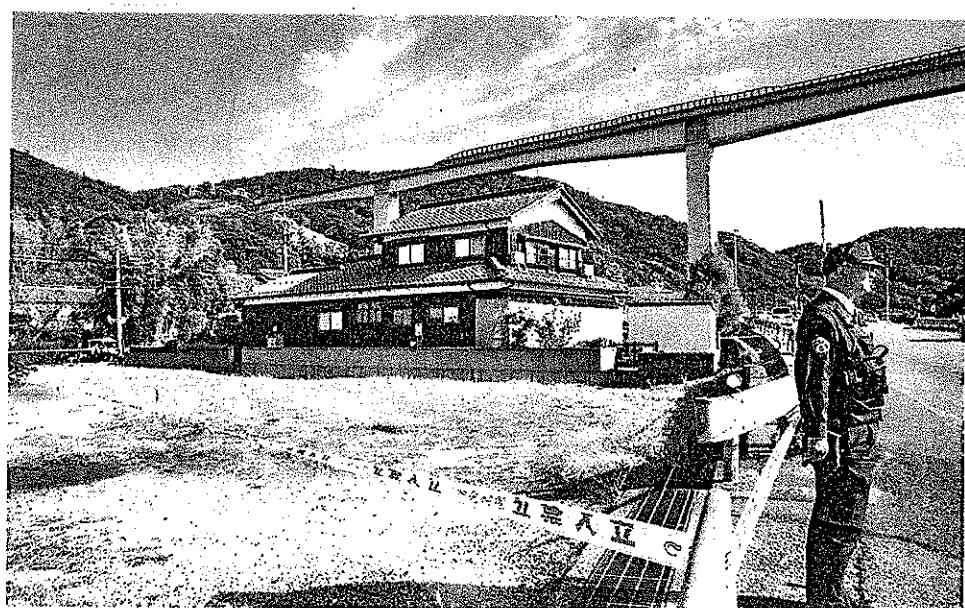
介護していた。家族の仲は良好だったという。

また、近所の七十代の女性は、「三人の介護で疲れただけ」と話していたのを聞いたといふ。

現場はJR敦賀駅から南に三キロほどで、国道8号沿いの集落にある一階建て住宅。

敦賀の民家に家族3遺体

息子の70代妻搬送 薬飲んだか



3人の遺体が見つかった民家=17日午後1時17分、敦賀市道口で